

足関節骨折の治療予定

手術予定日時 月 日 : ~ :

患者様サイン【 】

担当医師 _____
担当看護師 _____

様

	術前		術後
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に対する心身の準備ができる。 痛みのコントロールができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 疼みのコントロールができる。 固定による知覚障害、血行障害、手指運動障害がみられない。
日付	1日前	術前（手術当日）	術後（手術当日）
投薬 注射 処置	<ul style="list-style-type: none">  痛みが強い場合は痛み止めをします。 寝る前に睡眠薬を飲んで休めます。  爪切りをします。 マニキュアは落としてください。 手術予定が午前中で2時間以上の方は、夕方浣腸をします。 腫れ予防のため患部を氷嚢で冷やします。 	<ul style="list-style-type: none">  必要時は朝に少量の水でお薬を飲みます（心臓や血圧、喘息の薬等）  眼鏡、入歯、コンタクトレンズ、指輪、アクセサリなどは外してください。 手術用の服に着替えます。 午後から手術予定で2時間以上の方は、午前中に浣腸をします。 80歳以上の方は心臓保護のための貼り薬をします。  OS1を飲水できない方は点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none">  手術後食事が開始になってから痛み止めの内服が可能です。  手術後から翌朝まで点滴があります。  手術室から酸素を吸いながら帰ってきて、翌朝まで続きます。 80歳以上の方は心電図モニターをつけます。 術後はギプスが装着してあります。
検査			<ul style="list-style-type: none">  術後手術室でレントゲン撮影があります。
リハビリ			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 OS1（オーエスワン）の購入準備と飲用方法（別紙）を説明します。 	<ul style="list-style-type: none">  食事は 月 日 食以降食べられません。OS1を指示に従って飲水開始します。 月 日 時以降は飲水不可、うがい可能です。 	<ul style="list-style-type: none">  術後3時間後に看護師が確認し、水分が問題なくとれるようであれば食事が可能です。
生活 （安静度 ・観察）	<ul style="list-style-type: none"> 指先はしっかり動かしてください。 移動する時は、手術する方の足に体重をかけないようにして車椅子で移動します。 枕で足をあげて腫れを防止します。 痛みの程度、指の動き、しびれの有無などを観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みの程度、指の動き、しびれの有無などを観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> 術後3時間後からトイレに車椅子で行けますが看護師が付き添います。 足に体重をかけてよい時期については医師の指示に従います。 指先をしっかり動かしてください 呼吸の状態、気分不良の有無、痛みの程度、指の動き、しびれの有無などを観察します。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴日であればシャワーが可能です。 （男性：月・水・金 女性：火・木・土） 		
説明 指導	手術・入院リハビリテーションをします。手術・麻酔同意書の確認と入院診療計画書の発行があります。不明な点があれば医師・看護師にお尋ねください。		

	術後1日目	術後1週目	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疼みのコントロールができる。 ・ 固定による知覚障害、血行障害、手指運動障害がみられない。 ・ 車椅子移動動作が安全におこなえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疼みのコントロールができる。 ・ 固定による知覚障害、血行障害、手指運動障害がみられない。 ・ 38度以上の発熱が認められない。 ・ 松葉杖歩行が見守りでおこなえる。 	
日付	術後1日目	術後2日目	術後3日目～6日目
投薬 注射 処置	 ・ 朝と夕方に点滴があります。  ・ 呼吸が安定していれば酸素を外します。 ・ 心電図モニターをつけている方は、医師の許可があれば外します。	 ・ 朝と夕方に点滴があります。 	
検査	 ・ 朝食前に採血検査があります。		 3日目： 朝食前に採血検査があります。
リハビリ	 ・ 車椅子に乗る練習を開始します。		 ・ 松葉杖歩行練習を開始します。
食事			
生活 (安静度 ・ 観察)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能であれば自力での車椅子移動が可能です。 ・ 呼吸の状態、気分不良の有無、痛みの程度、指の動き、しびれの有無などを観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以降観察を継続的におこないます。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体をいいて着替えをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴日であれば、ギプスがぬれないようにしてシャワーが可能です。 	
説明 指導			

	術後1週目	術後2週目	
達成目標		<ul style="list-style-type: none"> 松葉杖歩行が自立しておこなえる 退院後の生活上の注意点が理解できる。 固定による知覚障害、血行障害、手指運動障害がみられない。 	
日付	術後7日目		術後8日目～退院
投薬 注射 処置			 <ul style="list-style-type: none"> 退院のめどを立てます。 手術後14日目： ・ギプスを外し、創部の糸を抜きます（抜糸） ・抜糸後、ギプスは下半分になり包帯固定に変更します。完全に固定が外れる時期については医師の指示にします。
検査	 <ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血検査があります。  <ul style="list-style-type: none"> レントゲン検査があります。 		
リハビリ			 <ul style="list-style-type: none"> ギプスが外れてから足首を動かす練習を開始します。
食事			
生活 (安静度 ・観察)	<ul style="list-style-type: none"> リハビリ室で松葉杖歩行が安定していれば病棟内でも練習を開始します。 		
清潔			
説明 指導			<ul style="list-style-type: none"> 退院指導を行います。